

# いのちをつなぐネットワーク事業

## 施策のポイント

本市では、「すべてのいのちを大切にする」という強い信念のもと、地域で誰もが健やかに安心して暮らすことが出来るまちの実現を目指し、“地域”を中心に据えた施策を積極的に展開している。「いのちをつなぐネットワーク事業」は、地域におけるセーフティネットの網の目を細かくすることで、支援が必要な人を一人でも多く救えるように、地域と行政との連携により、取り組んでいるもの。

### 自治体情報

福岡県北九州市

人口 / 979,766人

標準財政規模 / 242,214,850千円

担当課 保健福祉局地域支援部いのちをつなぐネットワーク推進課

電話番号 直通 093-582-2060

実施主体 北九州市

関連ホームページ [http://www.city.kitakyushu.jp/pcp\\_portal/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=23400](http://www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=23400)

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

本市では、平成 17 年から 19 年にかけて、家族や地域から孤立した状態での孤独死が相次ぎ、生活保護行政との関係について大々的に報道された。

このことを受けて、「いのちをつなぐネットワーク事業」を開始し、地域における支え合いや助け合いなどの共助の仕組みの再構築を目指している。

### 2 取り組みの具体的内容

区役所に「いのちをつなぐネットワーク担当係長」を計 16 名配置し、民生委員など地域の会合に積極的に向き、この事業を周知するとともに、地域における支え合いの重要性について、地域で考えてもらうという意識の醸成に努めてきた。

### 3 現在までの実績・成果

事業開始後 2 年間で、地域の会合等に約 3,000 回出席し、延べ数であるが、約 48,000 人の市民が参加している。また、相談件数も約 1,600 件で、特に民生委員や社協の福祉協力員との連携が深まっている。(全体の相談のうち、約半数)

民生委員をはじめ地域の方々からは、「いざという時に一緒に考えてくれるシステムができた。」「どこに相談してよいかわからない場合も、いのちをつなぐネットワーク係長がつないでくれるので助かる」などの声をいただいている。

### 4 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

制度・サービスの隙間にある様々なニーズを持つ人をどう支援していくか、前例も法的根拠もなく、手探りで事業を進めている。

対象者別に法定されている、現在の制度・サービスだけでは、支えられないような、生活の困難さを抱えている市民を支援するには、地域の方々の見守りや声かけが不可欠である。地域に向き、民生委員・児童委員を中心に、共助の仕組みの重要性を理解していただくよう努力している。

## 5 今後の展開と課題

地域づくりをどのような手法ですすめていくのか、方針を決定することが必要であり、今後、地域福祉計画の策定の過程において、地域に出向いている「いのちをつなぐネットワーク担当係長」の意見を聞き、「地域福祉のネットワークの再構築」の方法を模索していく予定。



いのちをつなぐネットワーク事業の概況状況（平成21年度）

1. 事業概要

事業名称	いのちをつなぐネットワーク事業
事業目的	高齢者の見守り、生活支援、地域交流の促進を図る。
事業内容	高齢者の見守り、生活支援、地域交流の促進を図る。
事業期間	平成21年4月1日～平成21年3月31日
事業費	18,920千円

2. 実施数

見守り回数	1,234
生活支援回数	567
地域交流回数	890

3. 事業費の内訳

国費	0
県費	0
起債	0
その他	0
一般財源	18,920

2. 実績

事業費	18,920
国費	0
県費	0
起債	0
その他	0
一般財源	18,920

3. 事業の概要

4. 事業の成果

高齢者の見守り、生活支援、地域交流の促進を図る。

### 予算関連データ

①～⑤の計	総額	財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
	18,920千円	0千円	0千円	0千円	0千円	18,920千円
①～④の名称、所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：いのちをつなぐネットワークパンフレット